

日本共産党 青森市政だより

発行 日本共産党青森市議団
〒030-0822 青森市中央1-22-5 市議会日本共産党控室

連絡先

市議会日本共産党控室 ☎ 017-734-1111
(内線) 6017
直通・FAX兼用 ☎ 017-722-8904
メールアドレス kyousant@grace.ocn.ne.jp
日本共産党東青地区委員会 ☎ 017-777-7241

ご意見・ご相談をお気軽にお寄せ下さい。

議会 報告



シンビジューム



左から、村川市議、赤平市議、藤原市議団長、万徳市議、山脇市議、天内市議（12月28日さくら野前での年末恒例の街頭演説）

日本共産党6人が全員当選 くらしの願い実現のために頑張ります

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願います。昨年10月に市議会議員選挙が行われました。日本共産党は、過去最高の得票率で、6人の候補全員が当選することが出来ました。12月議会では、学校給食の無償化実現、消費税10%増税ストップなど、公約の実現に向け、一般質問を行い、国への意見書の提出を議会に提案しました。

今年には県議会議員選挙も行われますが、学校給食の無償化のためには、県において給食費へ援助をする制度を策定することも重要です。

「義務教育は無償」の憲法の立場を生かし、教育の現場に経済の格差を持ち込まれることなく、すべての子どもたちが安心して給食を食べることが出来る環境の実現に向けて、県政とも力を合わせて、頑張る決意です。

日本共産党市議団は、今年も1年間、市民のみなさんのくらしの願い実現のために奮闘します。

政治へのご意見、ご要望、生活の困りごとなどありましたら、いつでもお気軽にお寄せください。

市民のみなさんの声を聞きながら、困難解決のために、全力で取り組みます。

戦争する国づくりを許さないたたかいがいよいよ求められています。▼安倍政権は、昨年末新「防衛計画の大綱」を決定し、5年間で27兆4700億円の軍事費を投入する空前の大軍拡計画に突き進もうとしています。▼一つは、「いずも」型護衛艦をステルス戦闘機・F35Bを搭載できるように改造する、事実上の空母化を進めようとしています。これらは「専守防衛」を建前としてきた自衛隊を「海外で戦争する軍隊」へと変貌させるもので許すわけにはいきません▼もう一つはトランプ大統領言いの「浪費的爆買い」を進めようとしていることです。F35を147機体制にするという2兆円を超える兵器購入計画は異常です。▼航空自衛隊の元幹部は「100機以上も買って、いったい何をするのか、目的が全く見えない」と批判しました。「専守防衛」をかなぐり捨て、「浪費的爆買い」に走る大軍拡計画には何の道理もありません。▼「大軍拡を中止し、国民の大切な税金は、福祉と暮らしに優先して使え」と声を上げる大運動を起こそうではありませんか。

時 潮

戦争する国づくりを許さないたたかいがいよいよ求められています。▼安倍



万徳なお子

青森市内に登録されている犬は、1万1千匹を超えており、猫も同じくらいの数が飼われていると推定されます。

東日本大震災では飼い主とはぐれ、放浪状態になったペットが続出したことを受け、環境省は災害時のペット救援対策ガイドラインで、ペットは飼い主との同行避難が原則となりました。しかし、避難所では鳴き声やアレルギーなどによるトラブルも懸念されます。災害時に動物救護対策をどうするかは動物愛護の観点から、被災者支援、放浪動物による人への危害防止の観点からも重要です。ガイドラインで同行避難は飼い主の自己責任が基本とされていますが、自治体には受け入れ態勢の確立が求められており、いざというときのためにペット同行避難の準備を整えておく必要があります。

点、被災者支援、放浪動物による人への危害防止の観点からも重要です。ガイドラインで同行避難は飼い主の自己責任が基本とされていますが、自治体には受け入れ態勢の確立が求められており、いざというときのためにペット同行避難の準備を整えておく必要があります。総務部長が答弁に立ち、「避難所ごとのペット用スペースは災害当日に決める。ゲージなどは飼い主が持つてくるので市は準備しない。専門知識の人材の配置も要らない」と述べました。周知徹底は動物病院の窓口に啓発用のチラシを置いていくことです。自治体によっては避難所での動物用トイレの設置の仕方や飼い主不明動物の世話の仕方などを取り決めており、ゲージやリードなどの備蓄もあるようです。

ペット同行避難の準備を徹底せよ



赤平ゆうと

「子どもが安心して遊べる場所がほしい」——いま、パパ・ママから切実な声が寄せられています。特に住宅が密集している富田地域（富田一丁目から五丁目）には、10歳以下の子どもの人口が平成30年11月1日現在で655人いるにもかかわらず、遊具がある公園の数がたった3か所しかないことが明らかとなりました。赤平ゆうと議員は「富田地域のパパ・ママからは、富田地域には遊び場が少なすぎて、アパートの駐車場で肩身を狭くして遊んでいる」「富田地域は、道路も狭いで、子どもたちが安心して遊べる公園がないと、事故の危険にもさらされる」といった声も紹介し

子どもが安心して遊べる場を増やせ

ながら「これで富田地域に子どもの遊び場が足りていると思うか」と質しました。答弁に立った、館山新福祉部長は「富田地域には、遊び場は確保されているものと認識している」と冷たい答弁を繰り返すばかりでした。赤平市議は「切実な声を踏まえて、富田地域に遊び場を増やすべきだ」と訴えましたが「用地確保の問題で難しい」という答弁がありました。そこで「富田地域には開発緑地が33か所ある。こういった場所を活用すれば、増やすことは可能ではないか」と要望しました。「遊び場」に関連したパパ、ママの願いは、富田地域の問題のほかにも



富田地域のちびっこ広場

融流雪溝の整備を急げ

佃地域の融流雪溝整備は、当初平成32年12月から供用開始が予定されていましたが、国の交付金の減額により、事業の進捗が遅れています。

平成29年には関係町会に対し、暫定供用開始が平成30年度から平成32年に変更になると説明がなされましたが、今年9月に開催された平成30年度

佃地区融流雪溝整備事業説明会ではさらに33年12月まで遅れることが説明され、地元町会では失望の声が広がっています。

山脇市議は12月議会一般質問において「融流雪溝整備事業は、一度その地域に設置すれば恒久的な雪対策となり、市民のニーズも高い事業だ」と指摘し「国の交付金が減

額されたからと言って延々と先延ばしするのは止めるべきではないか」と質問しました。長井都市整備部長は「融流雪溝の整備は、重要な克雪対策事業である」と市としても考えている。限られた財源の中ではあるが、引き続き効率的な発注に努めながら、計画的な整備を進めていく求めました。

山脇市議は「重要な事業だと認識しているのであれば、これ以上の先延ばしはするべきではない。佃地域の整備が遅れていくことによって、市内のほかの地域の整備も遅れていくもので、これ以上の先延ばしは絶対にするべきではない」と強く求めました。



藤原 浩平

藤原浩平市議は一般質問で、今年度新築、改築されたバス待合所について、利用者から寄せられている苦情の改善を求めました。市営バスでは、昨年度からバス待ち空間を快適にするとして、待合所のないバス停や、古い木造待合所を対象にアルミ製のフレームに透明なポリカーボネートで作られた待合所が新築改築されています。昨年度に設置された油川や荒川方面の待合所は、出入り口のほかにしつかり隙間がなく透明版で覆われ、風

風雪、風雨から守られるバス待ち環境を

雪や風雨でも利用者が守られる造りになっていましたが、今年度、北野内、下海原、東高校前、県病前などに設置された待合所は、デザインが変わって側面が透明なパネルで仕切られてはありますが、軒下と足もとに幅30センチもの空間があり、強い風雨の時は中まで雨が打ち付けるため利用者が身を隠すところがないとの苦情が寄せられていました。藤原市議は、「新築、改築された待合所の軒下、足元の空間をふさいでほしいとの利用者の声にこたえるべきだ」と質問しました。多田弘仁交通部長は「待合所に雨風が入るとのご意見を町会などからご意見をいただいたことから、空間をふさぐパネルを取り付けるよう工事を発注している。今後整備する待合所についても、隙間空間をより抑えた仕様で整備する」と答えました。その後、隙間空間を抑えるパネルが軒下部分に取り付けられています。



村川みどり

今年度は2013年に次いで過去2番目に多く発生している「風疹」は、12月19日現在で、青森県と大分県の2県で風疹患者ゼロとなっています。村川みどり市議は、12月10日の一般質問で「風疹の予防接種の一部助成制度は、いったん窓口で予防接種料金を支払い、後から口座に振り込まれる償還払い制度となっている。これを窓口無料化にすれば、躊躇なく予防接種に行くことができるはず」と窓口無料化を求めました。

風疹ワクチン接種の窓口無料化を

浦田浩美保健部長は「風疹ワクチン接種を受ける方の状況はさまざまであること、任意接種で受けていただく接種費用は、医療機関によって料金設定が異なることから、償還払いが適当。無料化は考えていない」と答弁。その翌日12月11日、厚生省は、39歳から56歳の男性の予防接種を3年間は無料にすることを発表しました。村川市議は「国に言われたからやるのではなく、風疹患者が発生していない今だからこそ、指示待ちではなく、予防対策を強化し、予防接種を受けやすい体制の整備や、市職員、教員、病院関係者などの行政職員からの感染を防ぐ取り組みを強化するべきだ」と強調しました。



天内しんや

食育基本法に押された学校給食法の改正により、地域の農漁業生産物を食材として取り入れることや、食料生産や流通に目を向けるなど、食育と地産地消が学校給食に問われていくようになりました。

同時に各自治体で昭和40年〜60年代にかけて建てられた、給食施設の建て替えが迫られ、新自由主義政策に基づき、施設の建設から調理までの業務を民間に任せる方法が打ちだされています。本市の給食センターも同様に、調理、建設、管理を民間に任せるPFI

適切な学校給食を進めよ

事業を導入しています。が、食育や地産地消という社会的要請からみて、本当に適切な給食なのかを検証しなくてはなりません。

天内慎也市議は、12月10日の一般質問において「本市の給食センターは、小・中学校合わせて、2万1000食を提供する効率化がされた施設であり、そのことにより、大量の食材を集めることが優先されて、冷凍食材が使用されたりするなど、食育や地産地消が犠牲になるのではないかと市教育委員会の佐々木理

事は「郷土料理の由来や、献立の栄養素など、学校と家庭が連携して取り組んでいる」と述べ、地産地消については「市産・県産食材を積極的に取り組むようにしているが、冷凍食材も使用している」と述べました。最後に天内市議は「PFI事業をすすめること、2万1000食分の大量の食材を集めることが優先され、肉や魚も冷凍ものでカバーせざるを得なくなる。その結果、地産地消と食育が犠牲となり、適切な学校給食になっていない」と強く指摘をしました。

山崎翔一議員に対する辞職勧告決議案を可決

11月26日の臨時議会で山崎翔一議員に対する辞職勧告決議案が可決されました。辞職勧告決議は、10月28日投票の青森市議選で当選した山崎翔一氏が、SNS上で高齢者や障がい者、性的マイノリティに対しての差別的な発言や性犯罪を軽視する発言を投票日にまで行われていたこと、一連の投稿が軽い気持ちで発せられた本心であること、山崎氏が軽はずみに差別的、侮辱的な発言を発信、拡散する人物であること、いくつもの問題がある投稿のうち4つの投稿以外の反省の弁がなかったことを指摘したうえで、山崎氏へ議員の辞職を勧告しました。決議案の賛成討論にたった天内慎也市議は「いま、議会に問われているのは、自らが差別と侮辱と認める表現を、軽い気持ちでネット上に拡散・発信できる人物が、青森市議という公職にふさわしいかどうかという一点にある」とし、障がいを持つ家族がいる市民から「家族の身にもなってみる」との声や、年金を受給している市民から「年金からも税金を払う。それで報酬をもらう議員が年金暮らしじいじいとは何事か」といった怒りの声が寄せられていることを紹介しながら「山崎議員は2つのアカウントで2つの顔を使い分けていた。有権者に届けられた言葉とは違う言葉を持っていたとすれば、表の顔の山崎議員に託された有権者の思いが裏切られたことになるのではないか」「差別と侮辱を日常会話とし、選挙期間中もそれを世界中に発信してきた人物は議員として不適格だと議会の意思を示す必要がある」と訴えました。決議案は賛成多数で可決されました。（賛否は左表参照）

山崎氏は、臨時議会、第4回定例会ともに体調不良を理由に欠席しています。

山崎翔一議員に対する 辞職勧告決議案に対する賛否	
賛 成	反 対
自民・志政会 渋谷勲、大矢保、花田明仁 丸野達夫、里村誠悦、小豆畑緑 中村節雄、中田靖人、舘山善也 木戸喜美男、神山昌則、山本治男	市民の声あおり 奥谷進 奈良岡隆 中村美津緒
日本共産党 藤原浩平、村川みどり、天内慎也 山脇智、万徳なお子、赤平勇人	市民クラブ 木下靖
市民クラブ 工藤健、秋村光男、奈良祥孝 竹山美虎	
公明党 山本武朝、軽米智雅子、渡部伸広 赤木長義	
無所属 橋本尚美	

所属の委員会が変わりました

藤原浩平 団長	山脇さとし
総務企画常任委員会副委員長	都市建設常任委員会
雪対策特別委員会委員長	議会広報広聴特別委員会 副委員長
自動車運送事業運営審議会	青森市病院運営審議会
村川みどり 副団長	万徳なお子
文教経済常任委員会	民生環境常任委員会
都市整備促進対策特別委員会	雪対策特別委員会
議会運営委員会副委員長	都市計画審議会
国民健康保険運営協議会	
天内しんや 幹事長	赤平ゆうと
民生環境常任委員会委員長	総務企画常任委員会
観光・交流対策特別委員会	議会広報広聴特別委員会
議会運営委員会	青森地域広域事務組合
黒石地区清掃施設組合	

会派の態度

共↓共産党、自志↓自民志政会、自民↓自由民主党、市声↓市民の声あおり、市ク↓市民クラブ
公↓公明党、無↓無所属
（○↓賛成、×↓反対、△↓一部賛成）

条例・意見書				
青森市民病院料金及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について（特別室の料金の引き上げ）	可決	○	×	共
学校給食の無償化を求める意見書	否決	○	△	自志
国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書	否決	○	×	自民
消費税10%引き上げを中止を求める意見書	否決	○	△	市声
		○	○	市ク
		×	×	公
		○	○	無